

1. 交付金事業の名称            原子力・エネルギー教育支援事業交付金事業
2. 交付金事業の事業主体      福井県
3. 交付金事業の実施場所      福井県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要となる以下の内容を実施した。

【県事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

原子力・放射線の学習のため、放射線の特性実験セット、放射線の性質実験器、戸田式霧箱等を整備した。

発電・エネルギーの学習のため、発電エネルギー比較実験器、風力・太陽光発電実験セット、光電池セット等を整備した。

(2) 施設見学の実施

福井原子力センター、美浜町エネルギー環境教育体験館「きいばす」等を見学した。

(3) 講演会の実施

有識者による原子力・放射線、発電・エネルギーに関する講演会を実施した。

【市町村事業】（福井市、大野市、勝山市、あわら市、坂井市、永平寺町、越前町、美浜町、若狭町）

(1) 実験器具・実験材料の整備

発電・エネルギーの学習のため、エネルギー変換効率実験セットや火力・水力発電実験器等を整備した。

(2) 施設見学の実施

美浜町エネルギー環境教育体験館「きいばす」等を見学した。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費    29,634,558 円

交付金充当額        29,634,558 円

6. 交付金事業の成果及び評価

当事業により原子力・エネルギーについて児童・生徒等の理解が促進されたと回答した割合【理解度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標 75%に対して実績 88%、施設見学事業が目標 90%に対して実績 88%、講演会事業が目標 90%に対して実績 86%だった。

原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として当事業が促進されたと回答した割合【満足度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標 85%に対して実績 90%、施設見学事業が目標 95%に対して実績 95%、講演会事業が目標 90%に対して実績 100%だった。

今年度、実験器具・実験材料の整備事業や講演会事業の【理解度】【満足度】ともに実績値が 80%以上の成果を上げた。このことから、本事業によって、学校の教育環境が充実し、環境・エネルギー分野の学習において十分に活用されているといえる。引き続き実験器具・実験材料を十分に活用しながらも、他の単元や授業で活用するなど有効に活用していきたい。

施設見学事業については、【理解度】【満足度】とも同じく実績値 90%近くの成果を上げ、講演会では【満足度】の実績値が 100%の成果があった。今後も、原子力関係施設を多く抱える県として、今後も原子力・エネルギーについて理解を深めさせ、持続可能な社会の担い手の育成に努めていきたい。